

第3回 北陸地域における  
カーボンニュートラルポ<sup>o</sup>ート（CNP）広域連携輸送検討ワーキングチーム  
議 事 概 要

日 時 : 令和5年1月31日（火）10:00～12:00

場 所 : ホテルグローバルビュー新潟 3階 春日の間

（対面・オンライン会議（Microsoft Teams）併用形式）

議 事 概 要

（1） 本日の議論の進め方及び今後の予定 [ 北陸地方整備局 ]

- 事務局から本日の議論の進め方及び今後のスケジュールについて説明した。

（2） 構成員からの情報提供（進捗と今後の予定）

- ・ 東北電力：水素/アンモニア混焼実証
- ・ J E R A、東北電力：水素・燃料アンモニア導入にむけた協業検討
- ・ 北陸電力、東北電力：燃料アンモニアサプライチェーン構築に関する事業化調査（第2フェーズ）
- ・ I H I：燃料アンモニア受入基地構想に関わる取組み
- ・ I N P E X：ブルー水素・アンモニア製造・利用一貫実証試験の開始

（3） CNP形成に向けた動き [ 国土交通省港湾局CNP推進室 ]

- 国土交通省港湾局CNP推進室から港湾法改正等のCNP形成に向けた動きについて説明があった。

（4） 日本海側のCNP広域連携輸送に向けた基本的な方向性の骨子

[ 北陸地方整備局 ]

- 事務局から今年度にとりまとめる「日本海側のCNP広域連携輸送に向けた基本的な方向性」の骨子について説明した。

（5） チームディスカッション（意見交換・質疑）

- 構成員から「北陸地域は日本海側でも中央に位置しており、二次転送を行う

ために適した立地である。備蓄の面も強みにまとめてはどうか」、「新技術の利活用が必要。アンモニアはクラッキング特性として注目している」、「まずはアンモニアの需要が顕在化し、その後に水素の需要が出てくると思われる」、「参考資料についているコストは物価変動などで変化がある。今後、更新が必要」などの意見があった。